

取付説明書

メールボックス ポール 1 型 / 取付金具 セット A

このたびはDea's Garden製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
正しく取付けをして頂くために、取付説明書をよくお読み下さい。

〈取付けの前に〉

- ◆取付けが不十分だと、強風などではずれる恐れがあります。この取付説明書に従い確実に固定して下さい。
- ◆施工の際には手袋を着用して下さい。
- ◆右記の工具が必要です。 ○プラスドライバー（短いタイプ） ○レンチ
- ◆強風時の施工は、危険ですので避けて下さい。



梱包明細表

・メールボックスポール 1 型

名 称	数量
メールボックスポール 1 型	1
取付金具セット A（右表参照）	1

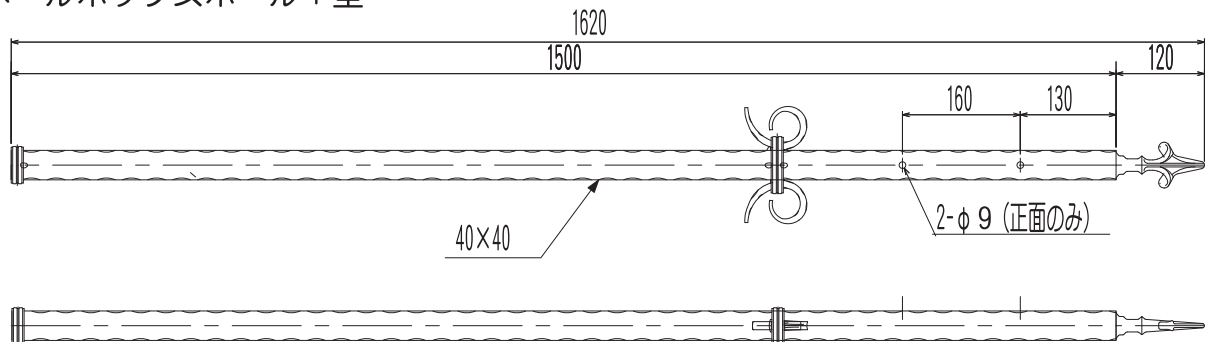
* 取付金具セット A のみの御構入も可能です。
くわしくは販売店にお問い合わせ下さい。

・取付金具セット A

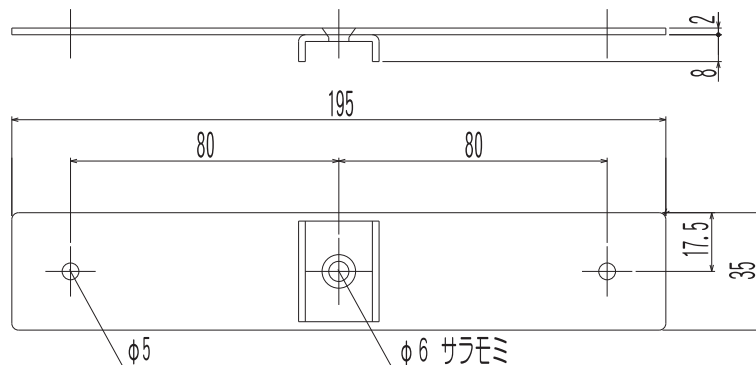
名 称	数量
取付金具	2
ターンナット TN-5	2
皿ビス M5 × 30	2
トラスビス M4 × 20	4
トラスビス M4 × 40	4
六角ナット M4	4
エプトシーラ W10 × 50（粘着テープ付）	4
シリコンチューブ 内径 4	4
取付説明書	1

[1] 姿図及び基本寸法（単位 mm）

メールボックスポール 1 型



取付金具



[2] メールボックス取付け対象一覧、取付け推奨高さ一覧

メールボックスポール1型への取付け	既存ポールへの取付け (アルミ型材ポールなど t 3mm以内に対応)	門扉、フェンスへの取付け
<p>*P. 3 [4] ポールへのメールボックス取付 参照</p>	<p>*P. 3 [4] ポールへのメールボックス取付 参照</p>	<p>*P. 3 [5] 門扉、フェンスへのメールボックス取付 参照</p>

[3] メールボックスポール1型の施工

メールボックスポール1型

- 左図の寸法以上の基礎を施工して下さい。
- メールボックスポール1型を垂直に施工して下さい

注意1

施工時はポストの取付け高さに注意して施工して下さい。

注意2

基礎は必ず指定通りに施工して下さい。指定通りに施工しない場合、床面の強度不足や強風による転倒の恐れがあります。

注意3

コンクリートが固まるまではメールボックスポール1型が動かないように固定して下さい。

* 埋め込み深さは最低250確保して下さい。長すぎる場合はサンダー等で不要分を切断して下さい。

[4] ポールへのメールボックス取付け

- ターンナットを左図の位置にセットします。

既存ポールの場合

- ターンナット取付けの為の穴加工が別途必要となります。P. 2 [2] メールボックス取付け対象一覧、取付け推奨高さ一覧を参考にφ9の穴を2ヶ所既存ポールにあけて下さい。
- 取付け可能既存ポール厚さ = t3mm以内

- 取付金具を皿ビス M5 × 3 0 で取付けます。
- **ターンナットへの取付け方法**

• ねじを軽く押す • ねじを一旦逆転→正転 • 続けて締め付け、完了

- 取付金具とメールボックスを左図のように取付けます。ドライバーとレンチで、トラスビス M4×20と六角ナット M4をしっかりと締め付けて下さい。

注意2

パッキン、座金、中敷きは、メールボックス本体の中に同梱されています。

- 中敷きをメールボックスの底に敷いて完成です。

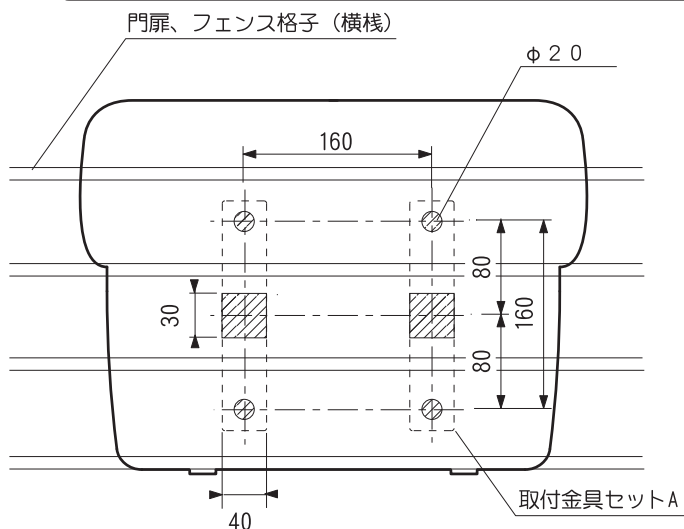
[5] 門扉、フェンスへのメールボックス取付

注意!

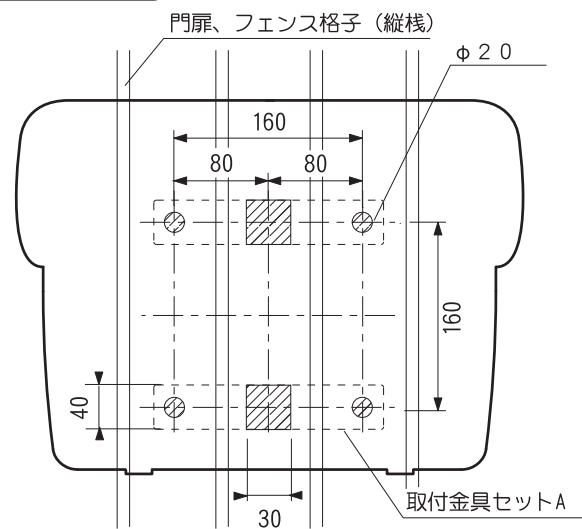
取付け可能な門扉、フェンスには条件があります。予め寸法確認が必要です。

取付可能な門扉、フェンスの条件

- 下図の斜線部分に門扉、フェンスの格子が重ならないこと。
- それぞれの取付金具に最低2本の格子がかかること。
- 門扉、フェンスの格子厚さは10~20mmの範囲であること。

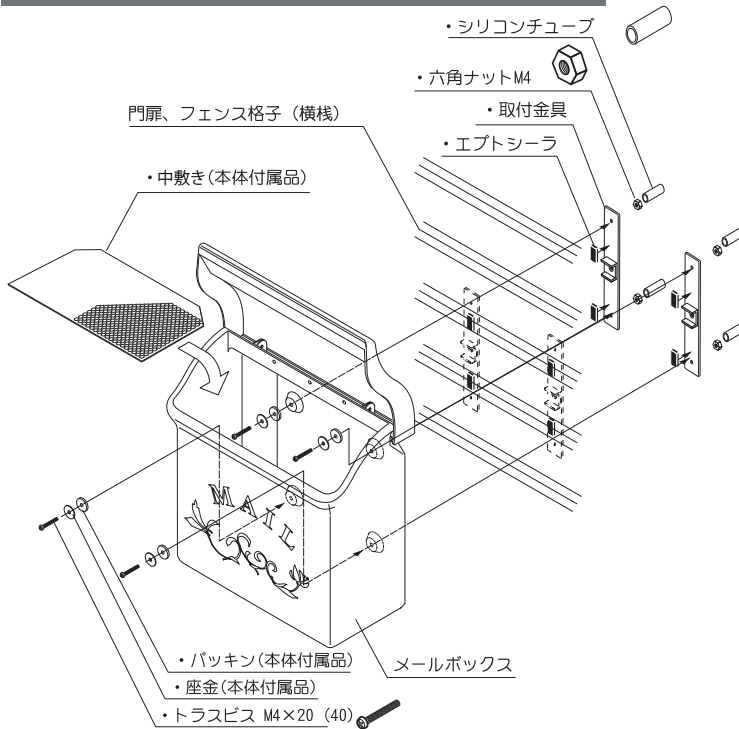


格子が横向きの門扉、フェンスへ取付ける場合



格子が縦向きの門扉、フェンスへ取付ける場合

(1) 格子が横向きの場合、フェンスへ取付ける場合



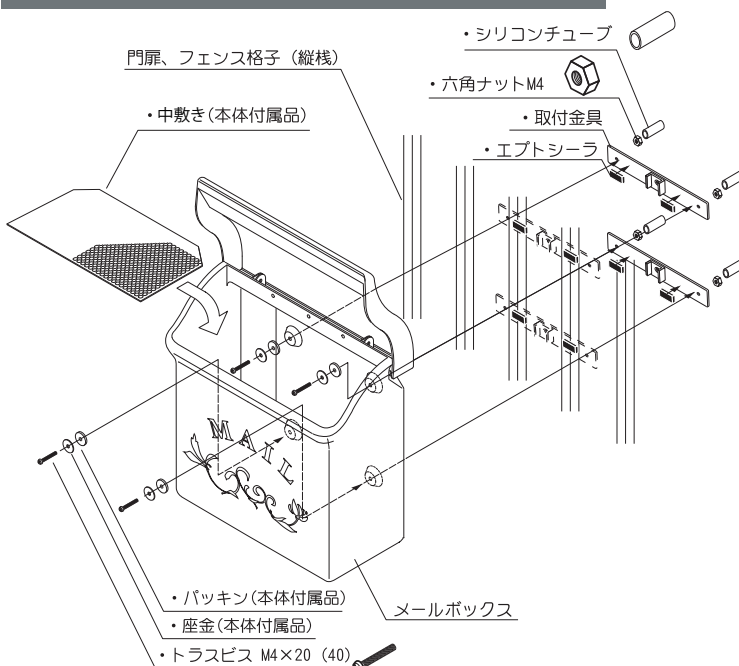
- P、2 [2] メールボックス取付け対象一覧、取付け推奨高さ一覧を参考にメールボックスを取付ける高さを決定します。
- 取付金具と格子が当たる位置を確認し、その位置にエプトシーラを貼付けます。(エプトシーラは格子のサイズにあわせてカットして貼付けます。)
- メールボックスと取付金具を左図のように門扉、フェンス格子をはさんで取付けます。ドライバーとレンチで、トラスビス M4×20と六角ナット M4をしっかりと締め付けて下さい。(ビス長さが足りない場合は同梱のトラスビス M4×40を使用して下さい)

注意

パッキン、座金、中敷きは、メールボックス本体の中に同梱されています。

- 裏側に飛び出たトラスビスにシリコンチューブをかぶせます。(飛び出たビスのサイズにあわせてシリコンチューブをカットしてかぶせます。)
- 中敷きをメールボックスの底に敷いて完成です。

(2) 格子が縦向きの場合、フェンスへ取付ける場合



- P、2 [2] メールボックス取付け対象一覧、取付け推奨高さ一覧を参考にメールボックスを取付ける高さを決定します。
- 取付金具と格子が当たる位置を確認し、その位置にエプトシーラを貼付けます。(エプトシーラは格子のサイズにあわせてカットして貼付けます。)
- メールボックスと取付金具を左図のように門扉、フェンス格子をはさんで取付けます。ドライバーとレンチで、トラスビス M4×20と六角ナット M4をしっかりと締め付けて下さい。(ビス長さが足りない場合は同梱のトラスビス M4×40を使用して下さい)

注意

パッキン、座金、中敷きは、メールボックス本体の中に同梱されています。

- 裏側に飛び出たトラスビスにシリコンチューブをかぶせます。(飛び出たビスのサイズにあわせてシリコンチューブをカットしてかぶせます。)
- 中敷きをメールボックスの底に敷いて完成です。

工事店様へ

- 改造、変更はしないで下さい。
- 組付け終了後、ボルト、ネジ類の締め具合を確認して下さい。
- 組付け終了後、蓋の開閉に異常がないか、確認して下さい。
- 組付け終了後、取付説明書、取扱説明書は御施主様にお渡しください。

御施主様へ

- 普段のお手入れは濡らした布でお拭き下さい。
- 汚れがひどい場合は希釈した中性洗剤を使用し、洗剤が残らないように拭き取って下さい。
- 開閉時には手や指を挟まないようご注意ください。
- 開閉時は蓋を静かに開閉して下さい。乱暴に扱うと破損の原因となります。
- ポストに腰掛けたり、乗ったりしないで下さい。けがの原因となります。
- シンナー、ベンジン等の溶剤のご使用は、絶対におやめ下さい。塗装に影響が出る恐れがあります。
- 廃棄する場合、一般不燃ゴミとして地方自治体の定める方法で処理して下さい。